

親子の学び応援講座

名 称	令和4年度 いわき市立豊間小学校 親子の学び応援講座 「教育講演会」
講座開催日	令和4年7月1日（金）
会 場	いわき市立豊間小学校 体育館
参加人数	保護者9名、豊間小学校5・6年児童47名、豊間小学校教職員9名 家庭教育ブロック委員6名、公民館職員2名、家庭教育応援企業13名 事務局2名 計 88名
実践活動テーマ	「コロナ禍や子ども達を取り巻く現状下の家庭教育推進の在り方」
テーマ設定の理由及び実践活動のねらい	豊間小学校では、インターネットやSNSによるトラブルは起きてはいないが、多くの児童が自分専用の端末機をもっていることや、フィルタリングソフトを入れている家庭が多いという実態が昨年度のアンケートにより明らかになった。また、インターネットやSNSを利用している児童の10%が1日3時間以上利用しているという結果も出た。以上のことから、今後はネット関連のトラブルや、依存症などへの心配が懸念されるということで、この講演会を実施した。

講座及び実践活動内容

○教育講演会

- 1 開会の言葉（豊間小 教頭）
- 2 校長あいさつ
- 3 PTA 会長あいさつ
- 4 講師紹介（豊間小 校長）
- 5 講演



演題 「情報モラルについて考えよう！

～インターネットの危険から身を守るために～

医療創生大学 心理学部臨床心理学科 教授 中尾 剛 先生

【内容】

〈SNS やネットゲームの危険性〉

- ・ ネットやゲームをやりすぎると。 →依存症になるかも。
- ・ 正しい姿勢で使わないと。 →病気になるかも。
- ・ 知らない人と SNS でチャットをすると →被害者になるかも。

〈インターネットやゲームに依存する〉

- ・ 「(脳の) 病気」という表現もできれば、「こころの問題」という見方もできる（依存症）。

〈ケータイ・スマホへの依存〉

- ・ 全国の中高生のうち推計93万人（約14%）が「インターネット依存」（2018年厚生労働省調べ）

事例① ケータイ・スマホを置き忘れて手元にないと、不安で何もできなくなる。

事例② 授業中にケータイ・スマホを取り上げられると暴れる。

など

〈このようなスマホの使い方は大丈夫？〉

- ・どんなときでもスマホが手元にあり（寝るとき・食事中・トイレなど）。
- ・大人（親）がスマホ依存になっている場合も多い。

〈ゲーム依存症（ゲーム障がい）〉

- ・スマホなどのゲームのやり過ぎで日常生活に支障をきたす状態。

事例① ゲームの時間や頻度を自分でコントロールできない。

事例② 日常の活動よりもゲームを最優先する。

事例③ ゲームにより個人、家庭、社会、教育、職業などの重要な機能分野に問題が生じてもゲームを止めることができず継続してしまう。

※上記のような状態が1年以上続く場合。

〈ゲーム依存度チェック〉

- ・ゲームをしている時間を聞かれると、ウソをついて短く言う。などのいくつかの項目の内ひとつでも身に覚えがあれば要注意！

〈依存症のタイプ〉

- ・リアルタイム依存 → 昼夜逆転を引き起こす危険性
- ・メッセージ型依存 → SNSなどに起因する事件に巻き込まれる危険性
- ・コンテンツ型依存 → 不適切な動画を投稿して問題となる危険性

〈健康への影響〉

- ・寝る前のスマホは眠れなくなる
- ・目への影響
- ・頭部を支える頸（首）



〈出会い系サイト・コミュニティーサイト〉

- ・被害にあう少年少女（64%が高校生以下）が多い。
小中高生のサイトへのアクセス手段は98.8%がケータイ

〈子どものSNS被害〉

- ・2020年にSNSで被害を受けた子ども1,819人
被害を受けた子どものうち、1,701人がスマホからアクセス（85.5%がフィルタリングの利用なし）

〈自分で自分の裸の写真を送る〉

- ・だまされたり、脅されたりして子どもが自分の裸を撮影させられた上、SNSで送信させられる被害。

〈SNSへの問題（不適切）行動が投稿〉

- ・スマホで問題行動を撮影して、そのままSNSへ投稿される。 → 拡散や炎上 → 地域社会で学校の評判を悪くする。

〈リツイートしただけなのに・・・〉

- ・リツイートするだけで成立してしまう犯罪
事例①公職選挙法違反
事例②リベンジポルノ防止法違反
事例③児童ポルノ規制法違反
事例④業務妨害罪、名誉毀損罪 など



〈デジタルストーリー〉

- ・投稿された文章や写真、顔写真の瞳に映った景色などを手がかりに住所などが特定される。身の回りの情報が出過ぎていないか、画質やサイズを落として読み取れないことを確認することが必要。

〈ゲーム機だから大丈夫？〉

- ・ゲーム機もインターネットにつながっている（スマホと同じ）
SNSなども利用できる
- ・オンラインゲームの注意点
課金、取引、チャット など

〈「モラル」ってなに〉

- ・規則で禁止されていないので、やろうと思ったらできるけど、やっていいかどうかを判断すること。
「なぜいけないのか。」 → 「必ず理由はある。」

〈スマホを見るとき？ゲームをするとき？〉

- ・食事中 → 一生懸命作ってくれた家族はどう思うか。
今は、本当は何をする時間なのかや失礼にならないのかを考える。

〈情報モラルを考えよう〉

- ・ながらスマホ、ゲームは危険なのでしない。
- ・人が写っている写真をネット（SNS）にあげない。
- ・ネットで知り合った人と絶対に会わない。 など

**モラルは「言われたから守る」のではなく、「自分で判断して決める」もの
※ 大切な家族や友だちを守るために！！**

〈ネットなどにより伝わる情報の特徴〉

- ・一度ネットに上がった情報は、消せない。（コピーが作られる）
- ・ネットの情報は、送る側の意見だけの場合がある。
- ・人によって情報の受け止め方は一緒じゃない。

〈困ったときは〉

- ・スマホ等から一度離れ、よく考えて相談する。

〈守れるルールを作ろう〉

- なぜルールが必要なのか考えてみよう
 - 勉強時間がなくなる、病気になる、事件に巻き込まれる かもしれない
- ルールを守らないと → 自分の身に危険があるかもしれない

〈家族みんなで守れるルールを考えよう〉

- 家族みんなの問題として考える。
- 子どもだけルールを守ればいいのか。(大人は好き勝手にいい?)

〈ネット依存症の予防(病気にならないために)〉

- ネットは便利で、生活をしていくのになくてはならないものになっている。だからこそ予防が必要。

- ◇人とのコミュニケーションを大切にする。
- ◇週に1日デジタルを断つ。(デジタルデトックス)
- ◇ネット以外に夢中になれることを見つける。
- ◇ネットゲームやサイト、ネット機器などの正しい情報を得て、リスク(危険性)を知る。
- ◇パソコンやスマホを使うときは正しい姿勢を心がける。
- ◇体を動かしたり、自然と触れ合ったりする。(体を動かすことは、質の良い睡眠につながる)。
- ◇誰かと出かけるときは、ネットは必要なとき以外は使わない。
- ◇会話は相手の顔を見て話す。

6 質疑

7 お礼の言葉(豊間小 校長)

8 閉会の言葉(豊間小 教頭)